



CASBEE横浜2017年版v.1.3
Brillia 美しが丘

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.3

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
	<非住宅>	<集合住宅>						
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境								2.9
1 音環境			2.0	0.15	3.0	1.00		2.6
1.1 騒音			3.0	0.50	3.0	0.50		-
1.2 遮音			1.0	0.50	3.0	0.50		-
1 開口部遮音性能			1.0	1.00	3.0	0.30		-
2 界壁遮音性能			3.0	-	3.0	0.30		-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20		-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20		-
1.3 吸音			3.0	-	3.0	-		-
2 温熱環境			3.0	0.35	3.1	1.00		3.1
2.1 室温制御			3.0	0.50	3.3	0.50		-
1 室温	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.63	3.0	0.63		-
2 外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.38	4.0	0.38		-
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	-	-	-		-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.20	3.0	0.20		-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.30	3.0	0.30		-
3 光・視環境			2.5	0.25	3.1	1.00		2.9
3.1 昼光利用			3.6	0.30	2.4	0.30		-
1 昼光率	快適・働きやすさ	⑩光環境	4.0	0.60	3.0	0.50		-
2 方位別開口	快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	1.0	0.30		-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20		-
3.2 グレア対策			1.0	0.30	4.0	0.30		-
1 昼光制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	1.00	4.0	1.00		-
3.3 照度	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.15	3.0	0.15		-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.25	3.0	0.25		-
4 空気質環境			3.0	0.25	3.0	1.00		3.0
4.1 発生源対策			3.0	0.60	3.0	0.63		-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	1.00	3.0	1.00		-
4.2 換気			3.0	0.40	3.0	0.38		-
1 換気量	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33		-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	-	3.0	0.33		-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33		-
4.3 運用管理			-	-	-	-		-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	-	-	-		-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	-	-	-		-
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-		2.7
1 機能性			2.4	0.40	2.6	1.00		2.5
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	3.0	0.60		-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	-	3.0	-		-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	-	3.0	1.00		-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-		-
1.2 心理性・快適性			1.0	0.30	2.0	0.40		-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	-	3.0	0.50		-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	-	-	-		-
3 内装計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50		-
1.3 維持管理			3.0	0.30	-	-		-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-		-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-		-
2 耐用性・信頼性			2.8	0.30	-	-		2.8
2.1 耐震・免震			3.0	0.50	-	-		-
1 耐震性	防災	⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-		-
2 免震・制振性能	防災	⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-		-
2.2 部品・部材の耐用年数			3.5	0.30	-	-		-
1 躯体材料の耐用年数	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-		-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	4.0	0.10	-	-		-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-		-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-
2.4 信頼性			1.6	0.20	-	-		-
1 空調・換気設備	防災	⑰信頼性	1.0	0.20	-	-		-
2 給排水・衛生設備	防災	⑰信頼性	1.0	0.20	-	-		-
3 電気設備	防災	⑰信頼性	1.0	0.20	-	-		-
4 機械・配管支持方法	防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-
5 通信・情報設備	防災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-		-
3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.8	1.00		2.8
3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50		-
1 階高のゆとり			3.0	-	3.0	0.60		-
2 空間の形状・自由さ			3.0	-	2.0	0.40		-
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50		-
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-		-
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-		-
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-		-
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-		-
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-		-
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-		-
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-		-



CASBEE横浜2017年版v.1.3

Brillia 美しが丘

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.3

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり		⑩生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり		⑪まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり		⑫地域性への配慮	3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ		⑬敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能		①建物の熱負荷抑制	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能		②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能		③設備システムの高効率化	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価					3.0	-	-	-	-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能		④効率的運用	3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能		④効率的運用	3.0	-	-	-	-
集合住宅の評価					3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能		④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能		④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護					3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水					3.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減					3.1	0.60	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					3.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材					3.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					4.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避					2.5	0.20	-	-	2.5
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避					2.3	0.70	-	-	-
1 消火剤					1.0	0.33	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)					3.0	0.33	-	-	-
3 冷媒					3.0	0.33	-	-	-
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮					4.4	0.33	-	-	4.4
2 地域環境への配慮					2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制					2.5	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減					3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制					2.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制					2.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮					3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	-
1 騒音					3.0	1.00	-	-	-
2 振動					-	-	-	-	-
3 悪臭					-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制					3.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制					3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					3.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30	-	-	-
上記以外の重点項目									
<事務用途>									
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ		⑬知的生産性向上への取組	1.0	-	-	-	-
<住宅用途>									
健康と安心									
1 化学汚染物質の対策		健康・安心		⑥健康対策	5.0	-	-	-	-
2 適切な換気計画		健康・安心		⑥健康対策	5.0	-	-	-	-
3 結露・カビ対策		健康・安心		⑥健康対策	3.0	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心		⑦防犯対策	4.0	-	-	-	-